

第21期 自然環境市民大学修了式 公開記念講演会

● 日時:2025年3月29日(土曜日)13:15~15:00

● 場所:大阪府立男女共同参画・青少年センター 4階 大会議室1

(ドーンセンター天満橋) ※京阪・大阪メトロ「天満橋」駅①番出入口から東へ約350m

演題:「オオサンショウウオの魅力的な生態と保全の現状」

講師: 田口勇輝 (オオサンショウウオ生態保全教育文化研究所長)



講師略歴

2004 大阪府立大学農学部地域環境科学科卒業

2006 大阪府立大学農学生命科学研究科 修士課程修了

2009 京都大学大学院地球環境学会 博士課程修了

2010 広島市安佐動物公園 飼育・展示課 技師

2024 オオサンショウウオ生態保全教育文化研究所設立

魅力的な生態 オオサンショウウオの魅力をおげると数えきれず、多くの研究者や愛好家はその魅力を享受してきた。全長1.5mにもなる大きな体や、100年以上も生きるかもしれないと考えられる長い寿命、生きた化石とも呼ばれる2300万年もの長い歴史性が人々を惹きつける魅力として特筆される。魅力の多くはオオサンショウウオがもつ生物学的側面によるところが大きいですが、じつは文化的な関わりも実に深く多様で、このことがさらにオオサンショウウオの魅力を高めている。様々な小説や童話、写真集に詩歌、エッセイ、漫画まで、オオサンショウウオが登場する作品の数は30を超える。



保全の現状 そのように魅力あふれる、日本を代表する動物が、今、絶滅の危機にある。生息環境の人工化や分断化に留まらず、温暖化によって引き起こされる水温上昇や集中豪雨による河口域までの流出、人為的に持ち込まれたチュウゴクオオサンショウウオとの交雑問題など、日本固有種のオオサンショウウオは個体数減少の一途を辿っている。本講演では、本種の特徴を様々な角度から紹介するとともに、本種が置かれている保全の現状についても解説し、人と自然の共存の在り方について考える機会としたい。

※どなたでも聴講できます(無料,申込不要)。13時より前には入場できません。講演終了後は市民大学修了式を開催しますので、関係者以外はお退出いただきます。

※問合先:公益社団法人 大阪自然環境保全協会 市民大学係

(Eメール: shimin@nature.or.jp, 電話:06-6242-8720)

主催:自然環境市民大学 共催:空の会(市民大学修了生の会)

公益社団法人 大阪自然環境保全協会(ネイチャーおおさか)

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-13 ハイム天神橋202号

HP: <https://www.nature.or.jp>

TEL: 06-6242-8720

